学校番号	４０８

平成 31 年度　国語科

教科	国語	科目	国語総合（古典）	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「新編　国語総合」　（東京書籍）						
副教材等	「クリアカラー　国語便覧　第四版」　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

【主体的に学ぶ】…毎回の授業課題へのとりくみ。
◇　授業の時間の中で、何度も自分から本文を読んでみよう。
◇　学習範囲は必ず予習をし、授業後は気になった点を中心に復習してみよう。
【知識・技能】…小テストを実施。
◇　現代にない語彙、現代と意味の異なる語彙を覚えよう。
◇　自ら鑑賞できるよう、文の意味を正確に読み取るための文法知識を身につけよう。
【思考力・判断力・表現力】…単元ごとに思考力や判断力、表現力を問う課題を出す。
◇　筆者の主張を短くまとめ、それに対する自分の考えを表明しよう。
【その他】
◇　提出の期限は厳守。小テストには真剣に取り組むこと。

2　学習の到達目標

・古典に描かれた世界の文化・伝統と現在を比較し、考察する。
・正しく音読ができ、語彙や文法知識に従い、適切な現代語訳ができる。
・情景を的確に表現でき、また、当時の常識を基に現代語で要約できる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e：知識・理解
観点の趣旨	古典に描かれた世界の文化・伝統と現在を比較し、考察しようとする。言語文化に対する関心を深める。			作品・作者についての文学史上の位置づけを理解した上で、作品の内容や心情、筆者の主張を、構成や展開に応じて的確にとらえている。	作品に用いられている、語句の意味・語法、および文法事項を理解している。
評価方法	①授業課題の点検 ②行動の観察			①授業課題の点検 ②定期考査	①授業課題の点検 ②定期考査 ③小テスト
	上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	古文入門・説話	＜教材＞ 著名作品冒頭音読(竹取物語、源氏物語、方丈記など) 「児のそら寝」(宇治拾遺物語) ＜古文を読むために＞ 歴史的仮名遣い　古語辞典	○			○	○	a歴史的仮名遣いの表記を意識しながら古文を繰り返し音読し、古文に慣れ親しむ。 d/e古語の意味を確認しながら、場面状況と登場人物の心情を正確に把握し、話の展開をたどる。 d説話のおもしろさを味わう。	行動の観察 定期考査 小テスト 授業課題
	随筆	＜教材＞ 「つれづれなるままに」「亀山殿の御池に」(徒然草) 「春はあけぼの」「うつくしきもの」(枕草子) ＜文法＞ 正格活用動詞	○			○	○	aまとまった分量の古文を読むことによって、より古文に慣れ親しむ。 e活用する言葉の概念、単位を理解できている。 d各章段から、文章の展開に即して作者のものの考え方や感じ方を読み取り、筆者の主張を現代語で短くまとめ、表現でき、自分の考えを合わせて考えを深めている。	行動の観察 定期考査 小テスト 授業課題
二学期	物語・日記①	＜教材＞ 「折々のうた」より 「芥川」「筒井筒」(伊勢物語) ＜文法＞ 用言・係り結び	○			◎	○	a和歌の修辞を実例から学ぶ。 B代表的歌集の文学史的価値を理解する。 C古代の恋愛・結婚について、現代との相違を作品鑑賞により考察する。 d活用する言葉の概念、単位を理解できている。	行動の観察 定期考査 小テスト 授業課題
	漢文入門	＜教材＞ 故事成語「借虎威」「守株」「五十歩百歩」 孔子の言葉　論語八章 ＜漢文を読むために＞ 訓読の方法・再読文字・置き字	○			○	◎	a馴染みのある格言、成句などの平易簡明な漢文を繰り返し音読し、漢文の口調に慣れ親しむ。 d人生の知恵として現在も生きている格言、成句や故事の由来を理解するとともに、それが持つ意味を現代の生活との関わりで理解する。 e訓読の決まり（返り点・送り仮名・基本句形・書き下し文）を理解するとともに、ある程度まとまった文章を理解する手順を身につける。	行動の観察 定期考査 小テスト 授業課題
三学期	軍記物語・日記②	＜教材＞ 「木曽の最期」(平家物語) 「旅立ち」(奥の細道) ＜文法＞ 音便形・助動詞	○			◎	○	a音読を通して勢いのある軍記物語を読む中で、古典に慣れ親しむ。 d作品・作者についての文学史上の位置づけを理解した上で、作品の内容や心情、筆者の想いを、構成や展開に応じて的確にとらえている。 e助動詞を用いて、現代語訳を試みる。	行動の観察 定期考査 小テスト 授業課題